



2021年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社 タムラ製作所
代 表 者 名 代表取締役社長 浅田 昌弘
(コード番号 6768 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
経営管理本部長 橋口 裕作
T E L 03-3978-2031

2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期通期連結累計期間の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 41,600	百万円 800	百万円 780	百万円 210	円 銭 2.56
実績値（B）	41,139	282	652	△55	△0.68
増減額（B－A）	△461	△518	△128	△265	—
増減率（%）	△1.1	△64.6	△16.3	—	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年3月期第2四半期）	33,325	309	458	27	0.33

2. 差異の理由

2021年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想数値に対して、電子部品関連事業における銅・鉄・石油化学製品、電子化学実装関連事業における錫・銀などの原材料価格の想定を超える高騰が営業利益を引き下げる主な要因となりました。営業外収益で為替差益などの上積みがありましたが、繰延税金負債の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益の業績予想との差分が2億6千5百万円と大きく広がる結果となりました。

3. 通期連結業績予想の修正

2022年3月期通期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 86,000	百万円 3,400	百万円 3,400	百万円 2,200	円 銭 26.79
今回修正予想（B）	88,000	2,200	2,350	1,100	13.39
増減額（B－A）	2,000	△1,200	△1,050	△1,100	－
増減率（％）	2.3	△35.3	△30.9	△50.0	－
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	73,906	1,969	2,384	542	6.61

4. 連結業績予想の修正の理由

電子部品関連事業における家電や産業機械関連顧客の旺盛な需要の継続や、電子化学実装関連事業における原材料価格高騰の販売価格への転嫁による影響で、売上高の増加を予想しております。一方で、第4四半期に予定していた放送設備の設置や、情報通信機器、自動販売機向けLEDモジュールの納品の一部が、半導体をはじめとする材料の入手困難等により、来年度に先送りになるなど、国内の設備投資関連案件における減収・減益要因も業績予想に反映いたしました。

なお、原材料価格の上昇による影響は、電子部品関連事業は第3四半期以降、価格改定により解消されると想定しておりますが、電子化学実装関連事業における錫などの原材料価格の上昇による影響は今後も継続するものと想定して業績予想に織り込んでおります。

（注）業績予想は、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上